



(一社)日本管路更生工法品質確保協会の活動と取り組み

見えない管路に見える品質を

キーワード

管路更生工法, 管路更生, 更生工法, 資格試験, 管路更生大学, 非破壊検査

松本 勝

MATSUMOTO Masaru

(一社)日本管路更生工法品質確保協会



1. はじめに

下水道における管路更生工法は昭和59年から始まり、累計実績で既に8,500kmを超え、さらに増え続けています。これは道路の開削をせず、コスト縮減を実現し、環境にも優しい工法であることが評価されているものと思われます(図-1)。

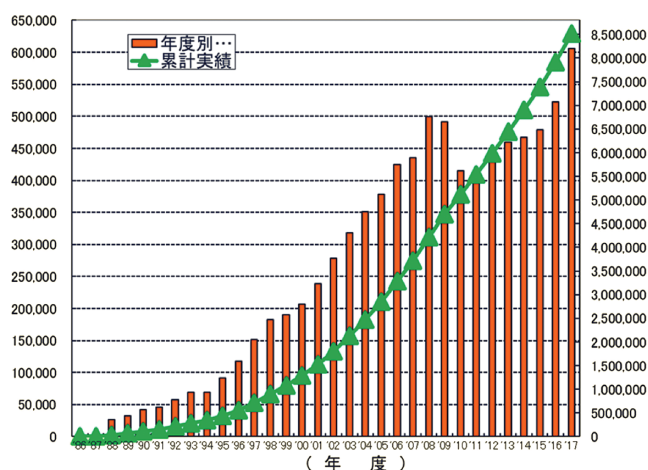


図-1 管路更生工法の実績推移

更生工法は、道路下に敷設された管路施設を供用しながら施工するため、出来上がり形状や強度等は直接確認できません。このため(一社)日本管路更生工法品質確保協会(以下、品確協)では発足以来『見えない管路に見える品質を』をキャッチフレーズに様々な品質確保活動を進めてきました。

2. 季刊誌／連載講座

私ども品確協は、平成21年に一般社団法人化してから昨年10周年の節目を迎え、今年度で11年目となります。この間、建設業法の業種区分に管路更生工事を加えるための活動、あるいは公益法人化、資格試験制度の創設など管路更生工法の品質確保・向上に資する様々な活動に取り組んでいます。

これらの活動内容についてはホームページや下水道展での情報提示はもとより、季刊誌「管路更生」で、定期的に本格的な技術論文も掲載して刊行しています(写真-1)。

